







令和 4年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進					
SDGs (関連性のある GOAL)	     						
基本目標	Ⅱ いきいきかがやく元気なまち						
基本政策	Ⅱ-2 心躍るスポーツ・文化						
所管部長	区民文化部長			所管課長	スポーツ振興課長		
関連所管	施設経営課						

【施策基本情報】

施策概要 (「基本計画2025」)	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要 (目標)】 スポーツを「する・観る・支える」の3つの観点から施設の効果的・効率的な活用、地域の活性化や一体感の創出を推進し、だれもがスポーツに親しみやすい環境を整える。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 関係機関・事業者・財団へスポーツ活動に対し支援する。また、自主的なスポーツ活動を展開する。 区民はスポーツを「する・観る・支える」ことを通じて親しむ。</p> <p>【主な取り組み】 スポーツ施設運営・整備、スポーツプロモーション事業、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業など</p>	誰もが安全・安心な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、また、気軽にスポーツを支える活動にも参加できる機会が多く存在している。 それにより、コロナ禍で低下した運動習慣の回復、改善に貢献出来ている。 また、東京2020大会終了後のレガシーとして区ゆかりのトップアスリートなどを起用しながらさまざまなスポーツイベントを実施し、パラスポーツの普及促進も実現している。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① スポーツ施設の利用者	万人	155.3	100.0	125.0	173.0	182.0
		達成率 (%)	85.3	54.9	68.7	95.1	令和7年度
	② 週1回以上スポーツを行っている区民の割合	%	51.1	—	55.1	—	70.0
		達成率 (%)	73.0	—	78.7	—	令和7年度
	③ スポーツ推進委員の事業出席者数	人	960.0	285.0	497.0	1,280.0	910.0
		達成率 (%)	105.5	31.3	54.6	140.7	令和7年度
	④ プロスポーツイベント観戦者数	人	35,557.0	11,940.0	15,344.0	16,000.0	16,500.0
		達成率 (%)	215.5	72.4	93.0	97.0	令和7年度
	⑤ スポーツイベント等参加者・来場者	人	37,976.0	12,319.0	22,640.0	82,900.0	87,600.0
		達成率 (%)	43.4	14.1	25.8	94.6	令和7年度

特記事項

指標①は計画策定直後から目標と実績が大きく乖離していた。コロナによる利用自粛が今後も見込まれるため、令和7年度の目標を下方修正している。指標②は隔年実施の区民意識意向調査に基づく。指標⑤は、令和元年度は新型コロナウイルスの影響でCityマラソン中止。令和2年、3年度はオンラインで実施。令和3年度実績の伸びは新植村冒険館の大幅来場者増によるもの。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	2,391,976	1,991,391	3,597,715	3,422,083	1,634,087	
事業費	千円	1,819,724	1,398,221	2,977,961	2,808,372	1,095,949	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	46,272	291	19,284	7,904	0
	特別区債	千円	0	322,000	608,000	689,000	0
	受益者負担	千円	1,500	0	2,485	0	0
	その他	千円	33,251	390,752	638,587	113,324	28,827
一般財源	千円	1,738,701	685,178	1,709,605	1,998,144	1,067,122	
人件費合計	千円	131,019	139,445	166,029	158,112	85,661	
経費	千円	441,233	453,725	453,725	455,599	452,477	

フルコストの増減理由

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で東京2020大会が延期、ほとんどのスポーツ事業が中止となった。令和3年度は延期となっていた東京2020大会が開催されたことが上昇理由。一方で引き続き区主催スポーツ事業はほぼ中止となった。

施策名	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進
------------	--------	------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価評語／改善の方向性		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況		

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価		
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価		
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価		
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価評語／改善の方向性	

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 001 スポーツ推進委員経費		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱	スポーツ基本法第32条 東京都板橋区スポーツ推進委員に関する規則		
計画事業番号		事業期間	昭和36年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 各地区の青少年健全育成地区委員会推薦、総合型地域スポーツクラブ推薦、その他</p> <p>【手段】 ユニバーサルスポーツの推進など、スポーツ振興施策における重点の変化に応じて、スポーツ実技指導等を踏まえつつ、区民に身近な立場からスポーツ振興を図る。</p> <p>【意図】 区民に対し、スポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導、助言及び地域スポーツのコーディネーターとしての役割を担い、スポーツ振興を図る。</p> <p>【成果】 各種事業、研修等を通じて区民に対するスポーツ指導や助言を行うとともに、地域スポーツのコーディネーターとして地域スポーツの活性化に寄与している。</p>	<p>【現状の周辺環境】 平成23年にスポーツ基本法が施行された。体育指導員の名称がスポーツ推進委員に変更され、従来のスポーツ実技指導等に加え、スポーツ事業のコーディネーターとしての役割が求められるようになり、区民に身近な立場からスポーツ振興を図るものへと変化している。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 新型コロナウイルス感染症対策を考慮した上での活動を行う必要がある。</p> <p>【区民からの意見】 ドッジボールなどの審判協力依頼や、ふるさといたばし体操出張講習会依頼などがあり、求めに応じた活動も行っている。</p> <p>【他自治体との比較】 スポーツ推進委員はスポーツ基本法において、特別職の非常勤職員として、法的な位置づけがなされており、他自治体においても同様の活動を行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	定員(計画数)	人	62.0	60.0	60.0	58.0	96.7	60.0	60.0
		達成率(%)	103.3	100.0	100.0	96.7		100.0	
② 成果指標	事業出席者数	人	960.0	285.0	500.0	497.0	99.4	1,280.0	1,280.0
		達成率(%)	75.0	22.3	39.1	38.8		100.0	令和4年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

事業出席者数については、徐々に事業も実施できる状況に変化しつつあるため、目標値を上昇させた。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	12,828	12,916	12,323	11,642	13,430
事業費	千円	6,930	7,100	6,560	5,879	7,667
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	6,930	7,100	6,560	5,879	7,667
人件費	千円	5,898	5,816	5,763	5,763	5,763
正職員	千円	5,898	5,816	5,763	5,763	5,763
人員	人	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	206.90	215.27	192.55	181.91	223.83

フルコストの増減理由

新型コロナウイルス感染拡大による事業中止等の影響。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 002 区民体育大会	
担当所属	スポーツ振興課	連絡先 3579-2651
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間 昭和22年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内在住、在勤及び在学者（競技種目により一部条件が異なる）。</p> <p>【手段】 区民が日頃の練習の成果を発揮する区の唯一の総合体育大会として開催している。</p> <p>【意図】 多数の競技種目（32種目）を実施することで、区民が様々なスポーツに親しみ、健康増進と体力向上を図ることで、区民生活を明るく豊かにする。</p> <p>【成果】 区民が様々なスポーツに親しむ機会や日頃の練習の成果を発揮する場となっている。また、当該大会の成績優秀者（チーム）を都民体育大会の出場者（チーム）として各競技団体が推薦することで、区民の競技意欲向上に繋がっている。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区立体育施設等を使用し32種目の競技大会を開催。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後、感染症予防の観点を取り入れた大会運営のあり方を検討していく。</p> <p>【他自治体との比較】 他自治体も同様に区民体育大会を開催している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	区民体育大会参加者数	人	14,525.0	0.0	17,000.0	0.0	0.0	17,000.0	⇒
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							

特記事項

令和3年度も令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により全種目中止となった。
令和4年度は従来のスタイルでの総合開会式（例；大人数が集合し、行進する）を取りやめ、参加者を限定するなど小規模での開会式を検討していく。また、区民体育大会の実施もコロナの感染状況を見極めたうえで、体育協会と協議・決定する。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	16,425	5,105	15,515	2,901	11,355
事業費	千円	11,370	120	8,929	431	8,885
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	11,370	120	8,929	431	8,885
人件費	千円	5,055	4,985	6,586	2,470	2,470
正職員	千円	5,055	4,985	6,586	2,470	2,470
人員	人	0.6	0.6	0.8	0.3	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	参加者一人あたりの経費	千円 1.13	—	0.91	0.17	0.67

フルコストの増減理由

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 003 スポーツ競技会
担当所属	スポーツ振興課
連絡先	3579-2652
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	昭和22年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <p>①剣道開放事業⇒区民・区在学等</p> <p>②都民体育大会⇒区民、または都民で区在勤等の方</p> <p>③城北大会（柔道、剣道、ソフトテニス、陸上、バレーボール、卓球）⇒板橋区、練馬区、北区、豊島区、荒川区の各競技連盟所属の方</p> <p>④ウォーキング大会⇒制限なし</p> <p>【手段】</p> <p>大会の開催</p> <p>【意図】</p> <p>練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上を図る。また、地域のスポーツ振興と競技交流や親善を図る。</p> <p>【成果】</p> <p>競技意欲の向上と実施競技の定着化が図られている。また、スポーツ・レクリエーション活動の機会拡充に繋がっている。</p>	<p>【現状の周辺環境】</p> <p>練習の成果を発揮する場の提供及び区民の競技意欲の向上並びにスポーツ・レクリエーション活動の機会拡充を図るとともに、都民体育大会、城北地区大会等においては、スポーツを通じて他自治体との親睦や競技交流を図っている。新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は各事業を中止した。令和3年度以降については、従前、区が主催していた「少年少女サッカー選手大会」については、サッカー連盟主催とし、「区民ドッジボール大会」についてもドッジボール連盟とスポーツ推進委員の共催とし、官から民への移管を行った。</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>他自治体も同様に各種競技会を開催している。また、城北地区大会については近隣区と連携し大会の運営を行っている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	ウォーキング大会参加者数	人	1,007.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,000.0	令和4年度
		達成率(%)	100.7	0.0	0.0	0.0		100.0	
② 活動指標	都民体育大会参加者数	人	442.0	0.0	450.0	10.0	2.2	450.0	令和4年度
		達成率(%)	98.2	0.0	100.0	2.2		100.0	
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

都民体育大会について、春季中止・夏季（ゴルフのみ）・冬季中止。
令和4年度より、ウォーキング大会が「スポーツ競技会」に加わる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	8,002	2,547	5,060	2,822	6,648
事業費	千円	5,474	55	3,413	1,175	4,178
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	788	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	4,686	55	3,413	1,175	4,178
人件費	千円	2,528	2,492	1,647	1,647	2,470
正職員	千円	2,528	2,492	1,647	1,647	2,470
人員	人	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

新型コロナウイルス感染拡大により各種事業が中止となったため。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 004 板橋Cityマラソン		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	平成10年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年（2009年）4月1日以前に生まれた方（中学生以上） <p>【手段】</p> <p>ONLINEによるマラソン大会の開催</p> <p>【意図】</p> <p>新しい生活様式におけるランナーの走る機会の提供、参加資格拡大等による健康増進への取組の推進、板橋区と自然豊かな荒川の魅力発信を目的とする。</p> <p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、走る機会を失っていたランナーに新しい形式で走る機会の提供を行うことができた。</p> <p>このことにより、10代～80代の幅広い年代の方々、1,169人に参加いただき、新たな参加者層の獲得を実現した。さらには、将来のマラソン・陸上人口の創出機会を提供することができた。</p>	<p>【今後の予想される周辺環境】</p> <p>新型コロナウイルス対策を実施した上での大会運営となるため、参加者数の制限や参加費値上げ等を余儀なくされる。</p> <p>【アンケート・統計調査】</p> <p>大会参加者へアンケート調査を行い、アンケート結果を基に改善を図ることでサービスの向上に努めている。</p> <p>※アンケート回収数 （平成29年度2,273件、平成30年度2,001件、令和元年度中止、令和2年度（オンライン）422件、令和3年度（オンライン）275件）</p> <p>【他自治体との比較】</p> <p>都内の日本陸連公認コースで開催されるフルマラソン大会については、「板橋Cityマラソン」と「東京マラソン」のみである。令和元年度には、世界陸連認証を取得した。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン等を活用した方式による大会を開催した。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	参加者数	人	0.0	1,828.0	2,000.0	1,169.0	58.5	10,000.0	10,000.0
		達成率(%)	0.0	18.3	20.0	11.7		100.0	令和4年度
② 成果指標	参加者アンケート※大会運営満足度	%	0.0	73.0	90.0	85.0	94.4	90.0	90.0
		達成率(%)	0.0	81.1	100.0	94.4		100.0	令和4年度
③ 成果指標	会場内出展ブース数	団体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	令和4年度
④									
		達成率(%)							
⑤									
		達成率(%)							

特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度はオンライン方式で大会を実施。
- ・令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、定員を削減する予定。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	18,786	13,712	18,672	14,490	19,649	
事業費	千円	8,676	3,742	8,792	4,610	9,769	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	5,626	3,687	6,251
	一般財源	千円	8,676	3,742	3,166	923	3,518
人件費	千円	10,110	9,970	9,880	9,880	9,880	
正職員	千円	10,110	9,970	9,880	9,880	9,880	
	人員	人	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人あたり	千円	—	0.78	3.73	2.90	1.96

フルコストの増減理由

令和2年度はオンラインマラソンによる経費減。令和3年度事業費は緊急財政対策により、10%減。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 005 スポーツプロモーション		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号	040	事業期間	平成27年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

<p>事業概要</p> <p>【対象】 区民（スポーツ教室は主に小学生を対象）</p> <p>【手段】 スポーツ大使やプロスポーツチームとの連携を通じた、各種スポーツ教室やイベントの実施</p> <p>【意図】 スポーツへの興味・関心を高めること及び競技の普及・啓発</p> <p>【成果】 区民がスポーツを身近に感じ、親しむことができる環境の整備</p>	<p>環境変化・備考</p> <p>【現状の周辺環境】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催後の、レガシー事業に区民の関心が高まっている。</p>
---	--

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	事業実施回数	回	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0
		達成率(%)	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	令和4年度
② 活動指標	事業参加者数	人	345.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,760.0	1,760.0
		達成率(%)	19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	令和4年度
③ 成果指標	東京エクセレンス試合観戦者数	人	19,288.0	3,225.0	5,230.0	2,806.0	53.7	2,000.0	2,000.0
		達成率(%)	964.4	161.3	261.5	140.3	100.0	令和4年度	
④ 成果指標	東京ヴェルディ及び日テレ・東京ヴェルディベレーザ試合観戦者数	人	16,269.0	8,715.0	9,000.0	12,538.0	139.3	13,500.0	13,500.0
		達成率(%)	120.5	64.6	66.7	92.9	100.0	令和4年度	

特記事項

令和2年度については、試合観戦者数については、新型コロナウイルス感染症拡大による開催制限の影響で大幅減となった。
令和3年度については、緊急財政対策により全ての事業を休止とする。また、7月1日付で「東京エクセレンス」がホームタウンを横浜市に移転し「横浜エクセレンス」へ名称を変更した。
令和4年度については、オリパラレガシー事業が「スポーツプロモーション」に加わるため、「事業実施回数」「事業参加者数」の目標値を増加させた。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	14,234	13,385	14,105	13,382	21,152
事業費	千円	754	92	932	209	7,979
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	190	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	172	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	392	92	932	209	7,979
人件費	千円	13,480	13,293	13,173	13,173	13,173
正職員	千円	13,480	13,293	13,173	13,173	13,173
人員	人	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和元年度より東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成事業が新設されたため、スポーツプロモーションで実施していた東京2020大会に関する事業は令和2年度の行政評価より、新規の事務事業で行う。
令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全ての事業が中止となった。
令和3年度については、緊急財政対策により全ての事業を休止とする。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 006 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2652
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	令和元年度 ~ 令和3年度
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民（スポーツ教室は主に小学生を対象とする）</p> <p>【手段】 東京2020大会に向けた機運醸成イベント、イタリアバレーボールチームの受入れに向けた準備、東京2020大会関連事業、東京2020大会レガシー事業の実施</p> <p>【意図】 イタリアバレーボールチーム歓迎ムードの創出、東京2020大会関連事業の実施</p> <p>【成果】 東京2020大会の成功と区民が身近に感じられる大会実施後のレガシー創出</p>	<p>【開始時の周辺環境】 小豆沢体育館をイタリアバレーボールチームが練習施設として使用することが決定するなど、東京2020オリンピック競技大会へ向けての注目が集まっていた。</p> <p>【現状の周辺環境】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催後の、レガシー事業に区民の関心が高まっている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)
① 成果指標	東京2020大会関連事業参加者数	人	2,177.0	221.0	1,500.0	136.0	9.1
		達成率(%)	145.1	14.7	100.0	9.1	
② 成果指標	イタリア応援ボランティア申込み者数	人	315.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率(%)	165.8	0.0	100.0	0.0	
③ 成果指標	イタリア応援ボランティア活動者数	人	0.0	159.0	159.0	0.0	0.0
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	0.0	

特記事項

令和元年度新規事業
令和2年度について、東京2020大会関連事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック教室のみの実施となった。イタリア応援ボランティアについては、計画にはなかったが、イタリア応援ボランティア養成講座を実施した。
令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック教室のみ実施となった。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	
フルコスト	千円	66,154	43,831	127,866	56,817	
事業費	千円	32,454	629	84,664	13,615	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	
	都支出金	千円	8,698	291	17,584	5,210
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	540	0	2,485	0
	その他	千円	2,000	0	2,000	0
	一般財源	千円	21,216	338	62,595	8,405
人件費	千円	33,700	43,202	43,202	43,202	
正職員	千円	33,700	43,202	43,202	43,202	
	人員	人	4.0	5.2	5.2	5.2
再任用等	千円	0	0	0	0	
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	
コスト指標	参加者1人あたり	千円	30.39	198.33	85.24	37.88

フルコストの増減理由

令和元年度新規事業
令和2年度について、東京2020大会関連事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック教室のみの実施となった。イタリア応援ボランティアについては、計画にはなかったが、イタリア応援ボランティア養成講座を実施した。
令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック教室のみの実施となった。
また、令和3年度で実計「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業」が終了したことに伴い、「バレーボール教室」、「オリンピック教室」などの事業がスポーツプロモーションに移行したことによる減額

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 007 (公財) 植村記念財団運営助成	
担当所属	スポーツ振興課	連絡先 2651
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち	
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化	
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進
根拠法令要綱		
計画事業番号	事業期間	~
		施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【手段】 運営費を助成する</p> <p>【意図】 冒険講座や植村冒険館を円滑に運営できるようにするため</p> <p>【成果】 冒険家・植村直己の冒険精神「ウエムラ・スピリット」を長く後世に伝える</p>	<p>【現状の周辺環境】 国民栄誉賞を受賞し、世界を代表する冒険家である植村直己氏を顕彰する建物は当館と兵庫県豊岡市にある「植村直己冒険館」の2館のみである。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 令和3年度に蓮根から加賀へ移転し、同年9月1日にリニューアルオープンした加賀スポーツセンターとの複合施設となったため、今までとは異なる層の来館者増が実現し、今後もスポーツセンター利用者に積極的に植村冒険館へも足を運ぶよう、アピールしてゆく。</p> <p>【他自治体との比較】 兵庫県豊岡市にある植村直己冒険館とは展示資料の貸し出しなど連携を深めている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	来館者数	人	15,111.0	9,649.0	21,000.0	19,886.0	94.7	50,000.0	50,000.0
		達成率(%)	30.2	19.3	42.0	39.8		100.0	令和7年度
② 活動指標	自然塾・アドベンチャー講座の実施	回	15.0	5.0	7.0	1.0	14.3	18.0	18.0
		達成率(%)	83.3	27.8	38.9	5.6		100.0	令和4年度
③ 活動指標	自然塾・アドベンチャー講座参加者延べ人数	人	343.0	77.0	184.0	10.0	5.4	434.0	434.0
		達成率(%)	79.0	17.7	42.4	2.3		100.0	令和4年度
④									
⑤									

特記事項

令和元年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（令和2年3月2日～31日）、令和2年度 同理由休館（令和2年4月1日～6月1日）及び事業中止あり、令和3年度 同理由休館（令和3年4月27日～5月31日）及び事業中止あり、蓮根から加賀へ移転のため休館（令和3年8月29日～12月17日）

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	48,496	41,407	54,434	46,692	50,294	
事業費	千円	31,052	24,161	32,376	24,634	31,358	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	31,052	24,161	32,376	24,634	31,358
人件費	千円	14,322	14,124	18,936	18,936	18,936	
正職員	千円	14,322	14,124	18,936	18,936	18,936	
人員	人	1.7	1.7	2.3	2.3	2.3	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	3,122	3,122	3,122	3,122	0	
減価償却費	千円	3,122	3,122	3,122	3,122	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者等一人当たりの経費	千円	3.14	4.26	2.57	2.20	1.01

フルコストの増減理由

令和3年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や事業中止したため、補助金の一部を区に返還した。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 008 (公財) 板橋区体育協会運営助成	
担当所属	スポーツ振興課	連絡先 2651
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち	
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化	
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進
根拠法令要綱		
計画事業番号	事業期間	~
		施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要 【対象】 板橋区民向けにスポーツの普及振興事業を行う(公財)板橋区体育協会 【手段】 運営費を助成する 【意図】 スポーツ振興事業を円滑に運営できるようにするため 【成果】 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する	環境変化・備考 【現状の周辺環境】 公益法人改革に伴い、平成24年4月1日付で公益財団法人に移行。区民の生涯学習に対するニーズの多様化により生涯スポーツ・レクリエーション活動への関心がますます高まるなか、積極的なスポーツの普及・振興への取り組みを期待されている。 【他自治体との比較】 他自治体においても同様に補助金を支出している。 【備考】 主催事業である「高島平ロードレース」(最長20キロ)は、令和3年度からハーフマラソンへ名称変更。
--	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	指導者育成講習会参加者数	人	595.0	480.0	600.0	1,021.0	170.2	1,100.0	1,100.0
		達成率(%)	54.1	43.6	54.5	92.8		100.0	令和4年度
② 活動指標	スポーツ振興事業・講習会研修会事業数	事業	21.0	7.0	17.0	9.0	52.9	17.0	17.0
		達成率(%)	123.5	41.2	100.0	52.9		100.0	令和4年度
③ 活動指標	高島平ロードレース 中学生以下参加者数	人	125.0	0.0	150.0	0.0	0.0	150.0	150.0
		達成率(%)	83.3	0.0	100.0	0.0		100.0	令和4年度
④ 活動指標	高島平ロードレース参加者数	人	1,205.0	0.0	1,600.0	0.0	0.0	1,600.0	1,600.0
		達成率(%)	75.3	0.0	100.0	0.0		100.0	令和4年度
⑤		達成率(%)							

特記事項

令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高島平ロードレース中止。
 令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、板橋区・高島平ハーフマラソン(高島平ロードレースから名称変更)中止。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	30,782	25,858	29,710	25,243	28,196	
事業費	千円	16,029	11,035	14,031	9,564	12,517	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	16,029	11,035	14,031	9,564	12,517
人件費	千円	14,753	14,823	15,679	15,679	15,679	
正職員	千円	1,685	1,662	2,470	2,470	2,470	
	人員	人	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3
再任用等	千円	13,068	13,161	13,209	13,209	13,209	
	人員	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	参加者一人当たりの経費	千円	15.99	53.87	11.65	9.90	9.89

フルコストの増減理由

R2年度もR3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、ロードレース(R3よりハーフマラソン)を始め、講習会等が中止となっている。そのため、補助金の一部を区に返還した。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 009 事務諸経費	
担当所属	スポーツ振興課	連絡先 2651
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち	
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化	
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進
根拠法令要綱		
計画事業番号	事業期間	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 スポーツ振興課の他事業に属さないもの</p> <p>【手段】 消耗品等必要経費を支出する</p> <p>【意図】 スポーツ振興の事務事業を円滑に実施するため</p> <p>【成果】 各事業の下支えをする</p>	<p>【現状の周辺環境】 関係団体や個人が大きな大会で好成績をおさめる、あるいは出場する際に区へ表敬訪問を受けている。</p> <p>【他自治体との比較】 他自治体においても大会出場者の懸垂幕を掲出する等、同様の事業を展開している。</p> <p>【備考】 板橋区スポーツセミナーは、緊急経済対策に伴う事業見直しの一環により、令和3年度から委託事業ではなく、共催事業とした。 (区の役割は会場確保等とし、委託料の費用負担なし)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	ボランティア保険利用人数	1,845.0	1,717.0	1,800.0	1,777.0	98.7	1,800.0	1,800.0
		達成率(%)	102.5	95.4	100.0	98.7		100.0	令和4年度
②	活動指標	青少年スポーツ指導者講習会参加者数	468.0	0.0	300.0	111.0	37.0	240.0	240.0
		達成率(%)	195.0	0.0	125.0	46.3		100.0	令和4年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

「青少年スポーツ指導者講習会」は令和2年度より「板橋区スポーツセミナー」へ名称変更した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は1回のみ実施。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	11,226	10,531	13,596	13,527	10,628
事業費	千円	1,116	561	1,246	1,177	748
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,116	561	1,246	1,177
人件費	千円	10,110	9,970	12,350	12,350	9,880
正職員	千円	10,110	9,970	12,350	12,350	9,880
人員	人	1.2	1.2	1.5	1.5	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220100 - 010 体育施設運営経費		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 2651
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱	東京都板橋区立体育施設条例、同施行規則		
計画事業番号		事業期間	～
		施設種別	教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 体育施設を利用する区民</p> <p>【手段】 体育施設の運営を行う</p> <p>【意図】 区民のスポーツをする機会を増やす</p> <p>【成果】 区内におけるスポーツの普及振興を図り、区民の心身の健全な育成と明るく豊かな生活の形成に寄与し、健康で活力のある地域社会づくりに貢献する</p>	<p>【現状の周辺環境】 平成17年度より指定管理者による管理を行っている。施設の老朽化が進み、設備の整備経費が増加している。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式にあわせた施設運営が求められる。</p> <p>【アンケート・統計調査】 指定管理者による体育施設利用者アンケートを年2回実施している。施設の充実度・清掃状況等、満足度は高い。</p> <p>【備考】 東板橋体育館は大規模改修を経て令和3年9月1日に加賀スポーツセンターとしてリニューアルオープンした。改修による休館期間(令和2年2月1日～令和3年8月31日)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	体育施設利用者数	万人	155.3	100.0	170.0	125.0	73.5	173.0	182.0
		達成率(%)	85.3	54.9	93.4	68.7		95.1	令和7年度
② 成果指標	利用者満足度の向上	%	94.2	92.2	90.0	93.3	103.7	94.0	94.0
		達成率(%)	100.2	98.1	95.7	99.3		100.0	令和4年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

【新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う体育施設の対応】令和元年度；令和2年3月2日～一般公開（個人利用）を中止
令和2年度；令和2年4月8日～5月31日 全館休館（屋外施設は5月30日から営業再開）、令和3年1月8日～3月21日 令和3年度：令和3年4月26日～5月31日 全館休館（屋外施設は5月12日より時短営業再開）令和3年7月1日～8月20日まで小豆沢体育館休館（イタリア来日のため）。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	1,426,872	1,215,329	1,346,793	1,278,727	1,472,735	
事業費	千円	977,808	753,926	869,844	799,904	1,012,848	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	37,384	0	1,700	2,694	
	特別区債	千円	0	161,000	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	31,251	204,752	20,961	21,152	22,576
	一般財源	千円	909,173	388,174	847,183	776,058	990,272
人件費	千円	10,953	10,800	26,346	26,346	7,410	
正職員	千円	10,953	10,800	26,346	26,346	7,410	
	人員	人	1.3	1.3	3.2	3.2	0.9
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	438,111	450,603	450,603	452,477	452,477	
減価償却費	千円	438,111	450,603	450,603	452,477	452,477	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用者一人当たりの経費	千円	0.92	1.22	0.63	0.60	0.85

フルコストの増減理由

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は利用者数が大きく減少したが、令和3年度は回復傾向にある。

事務事業名	220100 - 010	体育施設運営経費
-------	--------------	----------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容		
評価評語/改善の方向性	概ね順調/工夫して継続	
<p>体育施設は22か所もあり、利用者も多い。区民に安全で快適なスポーツ環境を提供するため、指定管理者と連携の上、魅力的な施設運営や適時適切な施設改修を行っていく。また、令和2年度初頭から続いている新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、しばらく利用者数の減少傾向は続くと推測される。元々、目標値と実績に乖離があったため、施設利用者数については現状を踏まえ、目標値の下方修正を行った。</p>		
前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況	一部対応済	
<p>スポーツ施設の利用者について令和7年度における目標値を225万人から182万人へ下方修正。コロナの影響のない平成28年～H30の3か年平均を基準値とし、そこから7年度まで利用者数9%増を目指す。</p>		

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	70%~90%がある		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>令和3年度は加賀スポーツセンターのオープンもあり、コロナの影響を一番受けた令和2年度よりは利用者数が増えた。ただし、コロナの影響のなかった令和元年度ほどには戻ってきていない。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		寄与している	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、休館や利用制限等設けていた関係で令和元年度以前ほど利用者はまだ戻ってきていないが、利用者が快適に施設を利用できるよう、適切に修繕計画をこなし、満足度の高い施設運営ができています。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
<p>屋外、屋内とも計画的に施設改修を行っている。老朽化が進むと多くの修繕費がかかり、安全性にも課題が生じやすいため、更新時期を捉えた施設改修を実施している。</p>			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト増大/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
<p>毎月の館長会や職員による施設巡回や年2回の主管課モニタリングを通じ、施設の状況把握に努め、指定管理者と密に連携を図ることにより、安全で魅力的な施設運営を行っていく。また施設改修を行うことで改修経費が増大するが、修繕費やランニングコストを抑えられる側面もあるため、今後も適切な時期に施設改修を実施していく。</p>			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	順調/工夫して継続
<p>長引くコロナ禍の影響により利用者要望も多種多様となり、施設の老朽化と合わせて厳しい運営となっているが、指定管理者と情報共有を密に行い、目標値達成を目指す。</p>	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220100 - 011 東板橋体育館等改修経費		
担当所属	スポーツ振興課		連絡先 3579-2651
関連所属	施設経営課		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220100	スポーツに親しむまちづくりの推進	
根拠法令要綱	東京都板橋区立体育施設条例、同施行規則		
計画事業番号	023、027	事業期間	平成30年度 ~ 令和 3年度
		施設種別	教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 東板橋体育館及び東板橋庭球場</p> <p>【手段】 東板橋体育館を大規模改修し、植村冒険館と複合化する。また、周辺スポーツ施設を整備する。</p> <p>【意図】 地域において生涯スポーツを楽しめる環境を整備する</p> <p>【成果】 東板橋体育館大規模改修の完了</p>	<p>【現状の周辺環境】 東板橋体育館は竣工から30年以上経過し、老朽化により大規模改修を行う。あわせて周辺スポーツ施設の再整備を行う。</p> <p>【備考】 東板橋体育館と植村冒険館を複合化する。 また、東板橋庭球場はどうぶつ公園と一体的に整備を行い、人工芝化した。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	東板橋体育館改修基本・実施設計	式	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		達成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0		0.0	令和元年度
② 活動指標	東板橋体育館改修工事進捗率	%	23.0	41.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
		達成率(%)	23.0	41.0	100.0	100.0		0.0	令和 3年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

東板橋体育館改修 平成30年度～令和元年度基本・実施設計、令和元年度～3年度大規模改修工事、令和3年9月体育館暫定利用開始
 植村冒険館複合化 令和2年度～令和3年度展示制作・設置、令和3年12月グランドオープン





【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算
フルコスト	千円	738,171	606,770	1,956,313	1,956,313	0
事業費	千円	728,061	596,800	1,947,174	1,947,174	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	161,000	608,000	689,000	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	186,000	610,000	88,485	0
一般財源	千円	728,061	249,800	729,174	1,169,689	0
人件費	千円	10,110	9,970	9,139	9,139	0
正職員	千円	10,110	9,970	9,139	9,139	0
人員	人	1.2	1.2	1.1	1.1	0.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

工事の進捗率に応じた支払いのため（前払い・中間払い・完成払い）

令和 4年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進						
SDGs (関連性のあるGOAL)	   							
基本目標	Ⅱ いきいきかがやく元気なまち							
基本政策	Ⅱ-2 心躍るスポーツ・文化							
所管部長	教育委員会事務局長				所管課長	生涯学習課長		
関連所管								

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 文化財の活用や郷土芸能の普及によって、地域の歴史・文化を次世代へ継承する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 板橋の歴史や伝統文化を理解し、未来へ保存・継承する。</p> <p>【主な取り組み】 文化財公開事業 文化財教育普及事業 郷土資料館管理運営 近代化遺産群史跡公園の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化を次世代に継承するために、各年代に応じた様々な事業が実施されている。 区民が、郷土資料館を通じて、板橋の魅力を再発見し、より一層郷土板橋への愛着と誇りが深まっている。

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 文化財を活用した事業への参加率	%	46.9	77.5	59.0	54.0	60.0
		達成率(%)	78.2	129.2	98.3	90.0	令和7年度
	② 入館者数（郷土資料館）	人	22,391.0	21,220.0	22,719.0	40,000.0	45,000.0
		達成率(%)	49.8	47.2	50.5	88.9	令和5年度
	③ 練習室の稼働率（郷土芸能伝承館）	%	63.0	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	④ 集会室の稼働率（郷土芸能伝承館）	%	24.7	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—
	⑤ 郷土芸能伝承館の施設利用率	%	—	32.0	32.1	56.0	60.0
		達成率(%)	—	53.3	53.5	93.3	令和6年度

特記事項

- ・指標①は、事業の定員に対する参加者の率である。
- ・指標①は、新型コロナウイルス感染対策を講じて実施回数の増加に伴い、参加定員を増やしたものの、参加者数は微増であったため参加率が減少した。
- ・指標②の令和3年度入館者数は、新型コロナウイルスの影響で、団体客の受け入れの制限も一因として減少した。
- ・令和2年度の指定管理者変更に伴い、指標③及び④を指標⑤に変更している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	437,444	364,944	297,625	331,671	328,635	
事業費	千円	274,252	205,572	138,253	172,751	169,715	
特定財源	国庫支出金	千円	6,809	8,890	4,384	3,632	16,914
	都支出金	千円	14,026	22,601	39,486	32,785	8,456
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	756	1,065	1,704	1,238	1,615
	その他	千円	22,410	779	1,279	1,779	294
一般財源	千円	230,251	172,237	91,400	133,317	142,436	
人件費合計	千円	144,786	141,236	141,236	140,784	140,784	
経費	千円	18,406	18,136	18,136	18,136	18,136	

フルコストの増減理由

- ①旧粕谷家住宅経費の減（休憩処整備用地購入による公有財産購入費等の減）
- ②史跡公園整備計画見直しによる委託料減

施策名	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進
------------	--------	----------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価評語／改善の方向性		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況		

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価		
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価		
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価		
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価評語／改善の方向性	

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220200 - 001 文化財保護管理経費
担当所属	生涯学習課
連絡先	3579-2636
関連所属	

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進	
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則		
計画事業番号	026	事業期間	平成 2年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 ①区民 ②文化財調査及び埋蔵文化財調査により発見された文化財</p> <p>【手段】 ①郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・文化財講座・史跡散歩・ふるさと文化伝承事業・いたばし文化財ふれあいウィーク等を実施する（教育普及・文化財公開推進）。 ②板橋区文化財保護条例に基づき、公共的見地から保存に努めるべきものを文化財として登録（登録文化財）し、そのうち特に重要なものを別途指定（指定文化財）する（保護管理）。</p> <p>【意図】 身近な視点で文化財に接し、実演・体験等を通じて文化財や郷土芸能への保護意識を醸成する。</p> <p>【成果】 区内の文化財について理解することで、区民が率先して次世代のために資料やデータを保護できるようになる。</p>	<p>【アンケート・統計調査】 受講者・参加者アンケートで、各講座とも8割以上の方から高評価を得ており、事業の継続を希望されている。</p> <p>【区民からの意見】 ①無形民俗文化財を周知・公開するための郷土芸能大会等の事業や文化財講座は、区民の多くから支持を得ており、事業の継続と周知方法の拡大を希望されている。また、講座の実施回数増加を要望されている。 ②区内に存在する文化財に関して登録されているか否かについての問い合わせや、新たに登録・保存してほしい旨の申出もある。</p> <p>【他自治体との比較】 ①他自治体でも無形民俗文化財を周知・公開する事業を実施している。 ②自治体により登録・指定文化財に対する奨励金・補助金の交付方法に若干の相違がある。 ③文化財ふれあいウィークは、各自自治体でも文化の日を中心に実施し、特に古民家については、保存している区がその時期に共同で周知・公開に努めている。</p> <p>【備考】 事務事業内訳：教育普及(文化財)、保護管理(文化財)、文化財公開推進事業</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	登録文化財（指定文化財）件数	件	186.0	189.0	192.0	191.0	99.5	193.0	200.0
		達成率(%)	93.0	94.5	96.0	95.5		96.5	令和 7年度
② 成果指標	郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能・説経浄瑠璃鑑賞会参加者数	人	800.0	0.0	1,000.0	133.0	13.3	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	80.0	0.0	100.0	13.3		100.0	
③ 成果指標	文化財講座・史跡散歩参加者数	人	218.0	93.0	400.0	180.0	45.0	400.0	400.0
		達成率(%)	54.5	23.3	100.0	45.0		100.0	
④ 成果指標	いたばし文化財ふれあいウィーク参加者数	人	759.0	0.0	2,000.0	898.0	44.9	2,000.0	2,000.0
		達成率(%)	38.0	0.0	100.0	44.9		100.0	
⑤ 成果指標	伝統工芸体験講座参加者数	人	13.0	—	—	—	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	

特記事項

指標の②及び④については、令和2年度は事業を中止とした。それぞれ、令和3年度については、規模を縮小して実施したものの、実績はコロナ禍以前と比較して数値が落ち込んでいる。③文化財講座・史跡散歩は、事業回数の増加により、実績が増加。⑤伝統工芸体験講座は、令和2年度から事業変更のため、目標値及び計画値を「-」としている。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	
フルコスト	千円	134,957	162,246	103,725	152,587	80,472	
事業費	千円	71,634	106,447	48,429	94,821	22,706	
特定財源	国庫支出金	千円	6,809	1,401	1,571	1,412	1,571
	都支出金	千円	14,026	18,857	38,080	31,675	785
	特別区債	千円	0	0	0	0	0
	受益者負担	千円	90	0	9	2	84
	その他	千円	13,635	512	1,023	1,506	22
	一般財源	千円	37,074	85,677	7,746	60,226	20,244
人件費	千円	63,188	55,664	55,161	57,631	57,631	
経費	正職員	千円	63,188	55,664	55,161	57,631	57,631
	人員	人	7.5	6.7	6.7	7.0	7.0
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	135	135	135	135	135	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	公開事業参加者1人あたり	千円	75.39	47.72	30.51	126.00	23.67

フルコストの増減理由

旧粕谷家住宅経費の減（休憩処整備用地購入による公有財産購入費減等）

事務事業名	220200 - 001	文化財保護管理経費
-------	--------------	-----------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語/改善の方向性	停滞/事業手法の見直し
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業が中止を余儀なくされたなかで、文化財の追加登録や感染防止対策を行ったうえでの事業の実施等の文化財保護管理に努めた。</p> <p>旧粕谷家住宅に関しては、放水銃・管理棟設置工事完了後は、歴史・文化・観光の拠点と位置づけ、引き続き活用していく。その際に、赤塚地域全体を面的にとらえながら、郷土芸能伝承館や郷土資料館などと協力、連携して多様な事業展開を図っていく。</p>	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
<p>前年度から続くコロナ禍により、文化財に関連する事業は一定の制限を設ける形となった。その中で募集人数を減らすなど実施方法の見直しを図りながら複数の事業を開催することができた。また、防火設備工事を実施した旧粕谷家住宅の公開再開に合わせ、区内における赤塚地域の一体的な事業の実施に向けて取り組んでいる。</p>	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	全てが90%以上		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、郷土芸能大会・いたばしの郷土芸能は事業を中止し、説経浄瑠璃鑑賞会は観客数を制限して開催した。文化財講座・史跡散歩・いたばし文化財ふれあうウィークについても上記原因の影響を受け、事業手法を工夫して開催することはできたものの、参加人数を制限するなどの措置を講じる必要があったため、計画値には満たなかった。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	大きく寄与している		
<p>日常的な有形無形の文化財の調査とデータ作成、保護管理をすすめることで、文化財講座などの普及事業、埋蔵文化財使用事業による学校教育への連携を可能とすることができた。これにより、地域の歴史・文化の保全・継承・活用を推進していくうえで重要となる文化財保護意識の醸成に寄与したものと評価できる。</p>			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	<p>旧粕谷家住宅においては、ふるさと納税を活用したクラウドファンディング事業を実施し、目標金額を上回る寄付金を歳入として確保することができた。また、都の補助金交付を受けて整備を実施した。</p>		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	<p>地域に点在する施設を面で捉えた事業を引き続き活用し、他課とも連携することにより参加者増に繋げるとともに、事業内容についてもさらに充実させていく。</p> <p>文化財に対する区民意識の更なる向上のため、SNS等を活用しながら情報発信に力を入れていく。</p> <p>各種事業の開催にあたっては、引き続き感染症対策を徹底し、事業目的の意識を堅持しながら実施手法を検討する。</p>		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	概ね順調/事業手法の見直し
<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、多くの事業においてその手法について見直す機会を設けて開催の判断を行った。</p> <p>旧粕谷家住宅に関しては、放水銃・管理棟設置工事が計画どおりに完了した。今後は、公開・普及事業を通じて歴史的価値の継承や区の文化観光拠点としての魅力発信のため活用を推進していく。同時に、郷土芸能伝承館や郷土資料館など赤塚地域全体を文化資源と捉え、引き続き多様な事業を展開していく。</p>	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220200 - 002 埋蔵文化財整理室等維持管理経費		
担当所属	生涯学習課		連絡先 3579-2636
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進	
根拠法令要綱	文化財保護法 板橋区文化財保護条例、同条例施行規則		
計画事業番号		事業期間 平成 2年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民</p> <p>【手段】 有形・無形文化財・埋蔵文化財調査に伴う実測図面や写真は、文化財・埋蔵文化財整理室に、出土遺物類は埋蔵文化財整理室、学校及び廃校の余裕教室で収蔵管理を行っている。文化財係で購入または寄贈を受けた図書・刊行物のうち歴史・民俗関係は高島平九丁目整理室、赤塚七丁目埋蔵文化財整理室で、考古学関係は高島平二丁目整理室で収蔵・保管する。</p> <p>【意図】 文化財を管理し、これを後世に伝承することで、区や地域の歴史等への理解を広めることにつなげる。</p> <p>【成果】 埋蔵文化財の出土遺物や資料を区民に公開し活用することにより、区民一人ひとりの文化財保護に対する意識が向上する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 埋蔵文化財の整理室が区内7カ所に分散しており、保存されている資料や遺物を区民に公開・活用してもらうことが簡単にはできない状況である。また、保管場所については廃校等を多く利用しているため、空き教室の再利用に伴い、遺物の移動を行う作業や事務が生じており、安定した保管場所の確保ができない。</p> <p>【他自治体との比較】 埋蔵文化財センター等を設置し、一括管理・公開している自治体がある。また、遠隔地にある自治体関連施設内に収蔵庫を建設し、資料を移している事例がある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 活動指標	寄贈資料数	冊	345.0	347.0	0.0	478.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	累計出土遺物量(コンテナ)	箱	7,084.0	7,095.0	0.0	7,121.0	0.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③		達成率(%)						
		達成率(%)						
④		達成率(%)						
		達成率(%)						
⑤		達成率(%)						
		達成率(%)						
特記事項								

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 予算	
フルコスト	千円	13,303	12,200	12,419	11,582	19,742	
事業費	千円	6,703	3,167	3,446	2,609	10,769	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	14	14	14	14	14
	一般財源	千円	6,689	3,153	3,432	2,595	10,755
人件費	千円	4,213	6,646	6,586	6,586	6,586	
正職員	千円	4,213	6,646	6,586	6,586	6,586	
	人員	人	0.5	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	2,387	2,387	2,387	2,387	2,387	
減価償却費	千円	2,387	2,387	2,387	2,387	2,387	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	累計出土遺物量 1コンテナあた	千円	1.88	1.72	—	1.63	—

フルコストの増減理由

- ①成増文化財整理室のアスベスト調査終了等に伴う委託料の減
- ②新公会計制度導入により、平成30年度決算より減価償却費を計上している。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220200 - 003 郷土資料館管理運営経費		
担当所属	生涯学習課		連絡先 5998-0081
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進	
根拠法令要綱	東京都板橋区立郷土資料館条例、同条例施行規則		
計画事業番号		事業期間	～
		施設種別	教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民をはじめとして多くの方々を対象に、</p> <p>【手段】 郷土に関する考古、歴史、民俗等の資料を収集、保管、展示することにより、</p> <p>【意図】 来館者自身が地域との関わりを理解するとともに地域を身近に感じ、また、文化伝統に接することで、</p> <p>【成果】 多くの方々に「郷土“板橋”」を意識してもらう。</p>	<p>【アンケート・統計調査】 ・利用者アンケートの結果では、各展示会の内容によって動きはあるが、約8割の方々から「大変よかった」若しくは「よかった」との評価を得ている。 ・郷土資料館の存在を「知らなかった」との回答が令和2年度は3割程度だったが、2割程度に減少した。PR活動に一定の効果があったと評価している。</p> <p>【区民からの意見】 ・最寄り駅から徒歩で約15分の場所に立地しており、バスの便数が少ないなど、交通の便の悪さを指摘する声が多い。</p> <p>【他自治体との比較】 ・国公立の博物館・資料館が多数ある都内において、郷土資料館では地域性を発揮した展示や事業を展開し、23区の博物館の中で入館者数は中位にある。(平成26年度の調査結果による)</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	展示会実施回数	回	3.0	3.0	4.0	4.0	100.0	4.0	4.0
		達成率(%)	75.0	75.0	100.0	100.0		100.0	令和7年度
② 活動指標	各種講座参加人数	人	2,024.0	1,177.0	1,000.0	2,753.0	275.3	1,000.0	1,000.0
		達成率(%)	202.4	117.7	100.0	275.3		100.0	令和7年度
③ 成果指標	入館者数	人	22,391.0	21,220.0	30,000.0	22,719.0	75.7	40,000.0	45,000.0
		達成率(%)	49.8	47.2	66.7	50.5		88.9	令和5年度
④									
⑤									

特記事項

新型コロナウイルスの影響で、団体客の受け入れに制限も一因として、入館者数が減少している。
令和2年度の実績を鑑み、令和3年度～令和5年度の入館者増加計画を計画しているが、コロナ禍の中で計画値を下方修正した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	260,785	114,208	123,069	113,862	145,920	
事業費	千円	178,438	46,305	55,691	46,484	78,542	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	666	1,065	1,695	1,236	1,531
	その他	千円	8,686	160	160	166	166
	一般財源	千円	169,086	45,080	53,836	45,082	76,845
人件費	千円	72,330	58,156	57,631	57,631	57,631	
正職員	千円	50,550	58,156	57,631	57,631	57,631	
	人員	人	6.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	再任用等	千円	21,780	0	0	0	0
	人員	人	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	10,017	9,747	9,747	9,747	9,747	
減価償却費	千円	10,017	9,747	9,747	9,747	9,747	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者1人あたり	千円	11.65	5.38	4.1	5.01	3.65

フルコストの増減理由

・令和元年度は、展示再整備の施工、赤塚地域屋外案内標識整備経費等が措置されているため、増額となった。
・令和4年度は、古民家屋根茅葺替え外壁修繕工事経費が措置されているため、増額となった。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220200 - 004 郷土芸能伝承館運営経費			
担当所属	生涯学習課		連絡先	3579-2636
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	板橋区立郷土芸能伝承館条例、同条例施行規則				
計画事業番号		事業期間	平成 元年度 ~	施設種別	教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 登録・指定文化財である民俗芸能又は芸能保存、伝承する団体等</p> <p>【手段】 郷土芸能の伝承、後継者育成等の練習の場所を提供する。</p> <p>【意図】 区民の文化の向上を図る。</p> <p>【成果】 後継者の育成が確実に進められることにより、郷土芸能が確実に伝承される。</p>	<p>【現状の周辺環境】 郷土芸能伝承館の利用者には、太鼓や里神楽など大きな用具を使用する団体が多く、車で訪れる利用者が多いが、駐車場がない。利用者から車を駐車したい要望があった場合は、北野神社に断りを入れて北野神社の駐車場に駐車させてもらっているため、今後も協力を得られるよう調整していく必要がある。</p> <p>【アンケート・統計調査】 利用者アンケートには、職員の対応、設備、館内の快適性・衛生面等の項目があり、いずれも利用者からの評価・満足度は高い。</p> <p>【区民からの意見】 太鼓の修繕、トイレのウォシュレット化、練習室入口の段差解消に関する意見がある。</p> <p>【他自治体との比較】 郷土芸能伝承館は、文化・芸能の練習・調査・研究を行う団体に絞り、教育委員会が利用承認を行い、団体利用を認めている施設であり、全国的に見ても特殊な施設である。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	郷土芸能伝承館練習室稼働率	%	63.0	—	—	—	—	—	
			達成率(%)	—	—	—	—	—	—
② 成果指標	郷土芸能伝承館集会室稼働率	%	24.7	—	—	—	—	—	
			達成率(%)	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	郷土芸能伝承館利用者満足度	%	96.0	89.0	90.7	88.0	97.0	90.8	91.0
			達成率(%)	105.5	97.8	99.7	96.7	—	99.8
④ 成果指標	郷土芸能伝承館施設利用率	%	—	32.0	53.0	32.1	60.6	56.0	60.0
			達成率(%)	—	53.3	88.3	53.5	—	93.3
⑤									

特記事項

- ①令和2年度の指定管理者の変更に伴い、指標①及び②を指標④に変更している。
 ②令和3年度施設利用率は、新型コロナウイルスの影響で休館、利用時間の短縮、利用人数制限等を設けたことにより、前年度とほぼ横ばいの数値を示している。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	28,399	30,310	28,313	28,219	28,178	
事業費	千円	17,477	21,120	19,153	19,882	19,841	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	75	93	82	93	92
	一般財源	千円	17,402	21,027	19,071	19,789	19,749
人件費	千円	5,055	3,323	3,293	2,470	2,470	
正職員	千円	5,055	3,323	3,293	2,470	2,470	
	人員	人	0.6	0.4	0.4	0.3	0.3
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867	
減価償却費	千円	5,867	5,867	5,867	5,867	5,867	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	千円	31.28	51.90	27.20	43.21	24.17	

フルコストの増減理由

- ①雨樋修繕終了及び自火報設備改修終了に伴う工事請負費の減②集会室用パンチカーペット購入による消耗品費の減③木札書き換え終了による修繕料の減④新公会計制度導入により、平成30年度決算より減価償却費を計上している。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220200 - 005 (仮称) 史跡公園整備経費 (生涯学習課)			連絡先	3579-2664
担当所属	生涯学習課				
関連所属	施設経営課 産業振興課 みどりと公園課				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち				
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化				
施策	220200	地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進			
根拠法令要綱	文化財保護法 文化財保護法施行令 歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業費国庫補助要綱 東京都文化財保存事業費補助金交付要綱 板橋区文化財保護条例 板橋区文化財保護条例施行規則				
計画事業番号	015	事業期間	平成28年度 ~	施設種別	教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民等</p> <p>【手段】 平成29年度に国史跡に指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」を、近代化・産業遺産を保存・活用した都内初となる史跡公園として整備する。</p> <p>【意図】 身近な文化財を通じて板橋の産業発展や地域の歴史、平和に対する学びの機会を提供し、併せてふるさと板橋を大切にすることを醸成する。また、史跡公園を板橋の新たなシンボルとして魅力を発信していくことにより、「ものづくりの板橋」としてのブランド力のさらなる向上と定着を図る。</p> <p>【成果】 史跡公園を取り囲む旧加賀藩下屋敷、中山道の宿場町として栄えた板橋宿を中心とする板橋地区、さらには区全域に好影響を及ぼし、将来的には区民にとって暮らし続けたいまち、来訪者にとっては、また訪れたいまちの実現に貢献する。</p>	<p>【開始時の周辺環境】 明治9年に発足した板橋火薬製造所の遺構・建造物が残ることから、近代化遺産として評価を受け、平成29年に国史跡として指定された。</p> <p>【現状の周辺環境】 当地を近代史跡・近代化遺産を中心とする史跡公園として整備するため、計画策定や調査活動を行っている。</p> <p>【区民からの意見】 令和2年1月に実施したパブリックコメントでは、史跡公園に対する期待が多く寄せられた。</p> <p>【他自治体との比較】 近代化遺産として国史跡指定を受けているのは、全国の国指定史跡の2% (令和元年度) にすぎず、さらに史跡公園として整備している例は非常に少ない。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	展示事業実施回数	回	—	—	1.0	1.0	100.0	1.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	史跡公園整備委員会開催数	回	—	4.0	5.0	4.0	80.0	5.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 活動指標	資料調査	回	—	35.0	—	13.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
④ 活動指標	文化庁・東京都・学識経験者との協議	回	—	24.0	—	34.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	0	45,980	28,823	25,421	54,323
事業費	千円	0	28,533	11,534	8,955	37,857
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	7,489	2,813	2,220	15,343
都支出金	千円	0	3,744	1,406	1,110	7,671
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	17,300	7,315	5,625	14,843
人件費	千円	0	17,447	17,289	16,466	16,466
正職員	千円	0	17,447	17,289	16,466	16,466
人員	人	0.0	2.1	2.1	2.0	2.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

史跡整備年度計画により整備事業を実施しており、各年度毎の事業内容に伴いフルコストが増減している。

令和 4年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220300 個性ある文化芸術の創造と活動の支援						
SDGs (関連性のあるGOAL)	4 質の高い教育をみんなに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナリシップで目標を達成しよう	
基本目標	Ⅱ いきいきかがやく元気なまち						
基本政策	Ⅱ-2 心躍るスポーツ・文化						
所管部長	区民文化部長			所管課長	文化・国際交流課長		
関連所管							

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 文化芸術創造活動に対する支援と文化芸術へいざなう機会の充実を図るとともに、「絵本のまち」など板橋区ならではの代表的な文化イメージを推進し、魅力ある地域文化・芸術をはぐくむ。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 文化・国際交流財団…地域文化の創造を支援する文化芸術振興の牽引役 文化団体連合会…24の文化団体による文化芸術活動と振興の担い手</p> <p>【主な取り組み】 文化事業運営、（公財）板橋区文化・国際交流財団運営助成、文化会館・グリーンホール運営、美術館運営など</p>	<p>区内の文化や魅力を発掘するとともに、「絵本のまち」や歴史ある伝統文化をはじめとする板橋ならではの文化の創造・発信がされている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 文化会館の施設稼働率（大ホール・小ホール）	%	67.5	46.1	67.2	75.0	75.0
		達成率(%)	90.0	61.5	89.6	100.0	令和7年度
	② 過去1年間に文化芸術にふれた区民の割合	%	79.9	—	74.6	100.0	100.0
		達成率(%)	79.9	—	74.6	100.0	令和7年度
	③ 過去1年間に文化財に触れた区民の割合	%	12.3	—	4.4	15.0	15.0
		達成率(%)	82.0	—	29.3	100.0	令和7年度
	④ 絵本文化の発信・醸成事業の参加者数	人	15,572.0	9,085.0	11,158.0	12,000.0	12,000.0
		達成率(%)	129.8	75.7	93.0	100.0	令和7年度
	⑤ 美術館入館者数	人	40,001.0	30,159.0	31,898.0	55,000.0	55,000.0
		達成率(%)	72.7	54.8	58.0	100.0	令和7年度
特記事項							
<p>指標①は新型コロナウイルス拡大に伴う休館等により令和2年度の実績は大幅に減少したが、令和3年度は回復傾向にある。</p> <p>指標②・③は隔年実施の区民意識意向調査結果。</p> <p>指標④は令和元年度に美術館リニューアルオープン記念として、ポーロニャ国際絵本原画展を開催したことで観覧者数が増加。</p> <p>指標⑤は平成30年4月から令和元年6月末まで改修工事による休館。令和2年度は新型コロナウイルス拡大により展示会等を中止。</p>							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	946,114	1,006,027	835,058	883,716	1,156,748	
事業費	千円	679,122	693,848	514,571	559,332	854,592	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	3,556	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	16,356	22,785	27,408	16,398	24,846
	その他	千円	7,790	6,339	10,978	8,990	11,245
一般財源	千円	651,420	664,724	476,185	533,944	818,501	
人件費合計	千円	143,655	149,777	158,085	156,713	134,485	
経費	千円	123,337	162,402	162,402	167,671	167,671	
フルコストの増減理由							
文化会館・グリーンホールの改修案件の金額によりフルコストも増減する。							

施策名	220300 個性ある文化芸術の創造と活動の支援
------------	--------------------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容	
評価評語／改善の方向性	
前回の評価結果への対応状況	
対応状況	

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移	
評価	
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因	
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か	
評価	
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）	
評価	
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか	

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価評語／改善の方向性	

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220300 - 001 文化事業運営		連絡先	3579-2018
担当所属	文化・国際交流課			
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援		
根拠法令要綱	板橋区民文化祭実施要綱			
計画事業番号		事業期間	~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を求めている区民</p> <p>【手段】 10月・11月の2か月間にわたり、文化芸術活動の発表と普及の場として、区民文化祭を文化団体連合会及び文化・国際交流財団と共催により実施する。本庁舎では質の高い文化芸術作品を展示する庁舎ギャラリー等を実施する。</p> <p>【意図】 板橋の地域文化を象徴する文化団体連合会と連携し、文化芸術活動の発表の機会及び鑑賞の機会を提供する。</p> <p>【成果】 板橋ならではの地域文化を推進するとともに、区民の生活に文化芸術の楽しみを浸透させ、まちに活気やにぎわいを創出する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりを見せている。 東京2020大会を契機として、国及び都は文化プログラムを推進している。 国では、平成29年「文化芸術基本法」、平成30年「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行された。</p> <p>【区民意識意向調査】 過去1年間に鑑賞・体験活動した文化芸術について、「メディア芸術」が52.4%、「音楽」が50.9%と多く、「全くふれなかった」区民は21.6%であった。</p> <p>【アンケート・統計調査】 令和元年度に実施した「板橋区文化芸術に関する意識調査」によると、直近1年間の文化芸術鑑賞経験のある区民は75.8%、活動経験のある区民は30.8%となっている。</p> <p>【区民からの意見】 区民文化祭に対する区の支援の充実を求める要望あり</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	区民文化祭観覧者数	人	193,494.0	0.0	217,000.0	6,998.0	3.2	217,000.0	217,000.0
		達成率(%)	89.2	0.0	100.0	3.2		100.0	令和4年度
② 成果指標	区民文化祭出演・出品者数	人	7,867.0	0.0	8,000.0	5,843.0	73.0	8,000.0	8,000.0
		達成率(%)	98.3	0.0	100.0	73.0		100.0	令和4年度
③ 成果指標	過去1年間に文化芸術観賞した区民の割合	%	75.8	—	—	—	—	—	100.0
		達成率(%)	75.8	—	—	—		—	令和7年度
④ 成果指標	過去1年間に文化芸術活動した区民の割合	%	30.8	—	—	—	—	—	40.0
		達成率(%)	77.0	—	—	—		—	令和7年度
⑤		達成率(%)							

特記事項

指標①・②は新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年度は中止。令和3年度は一部事業が中止・縮小・無観客開催。
指標③・④は計画策定時(5年ごと)に実施する文化芸術に関する意識調査の結果。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	39,107	25,812	30,534	30,534	33,658	
事業費	千円	11,018	4,809	9,665	9,665	9,496	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	11,018	4,809	9,665	9,665	9,496	
人件費	千円	28,089	21,003	20,869	20,869	24,162	
正職員	千円	19,377	16,616	16,466	16,466	19,759	
人員	人	2.3	2.0	2.0	2.0	2.4	
再任用等	千円	8,712	4,387	4,403	4,403	4,403	
人員	人	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	観覧者1人あたり	千円	0.17	—	0.13	2.38	0.15

フルコストの増減理由

令和2年度決算の事業費減少は、区民文化祭の中止により、代替事業として動画制作事業を実施したため。
令和3年度決算の前年比事業費増加は、区民文化祭を実施したため。(一部縮小・中止)

事務事業名	220300 - 001	文化事業運営
-------	--------------	--------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容		
評価評語/改善の方向性	停滞/事業手法の見直し	
新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止を踏まえ、「新しい日常」に対応した文化芸術活動の場の創出を検討する。具体的には、DX（デジタルトランスフォーメーション）の一環としてインターネットなどを活用した文化芸術活動の機会の創出や、公的空間や屋外施設などの多様な場を活用することにより、持続可能な文化芸術活動を推進する。		
前回の二次評価結果への対応状況		
対応状況	対応済	
新型コロナウイルス感染症への対策を徹底し、可能な限り文化事業を継続した。また同時にインターネット上でも美術作品や書道作品など見ることができるよう新たな取組を行なった。		

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%未満がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	新型コロナウイルス感染症拡大により、区民文化祭の一部事業が中止、縮小、無観客開催などの影響を受け、観覧者数が減少した。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
文化事業の推進は、文化芸術活動や発表の機会の充実させ、地域文化の活性化を通じて、中間アウトカム「文化芸術の創造・発信」に大きく寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況			
区民文化祭は区、文化・国際交流財団、文化団体連合会が共催で実施しており、それぞれの強みに応じた事務負担や実務負担、経費負担により実施している。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持/活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
令和4年度から区民参加を促進するため、一部事業について区民参加公募の条件を緩和する。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語/改善の方向性	停滞/事業手法の見直し
文化芸術事業においては、コロナ禍であっても持続可能な文化活動を確保するため、動画配信等を含めたDXの視点も踏まえながら取り組んでいくことが必要である。同時に文化芸術家が直接活動を行う機会や発表する場の確保も不可欠であることから、ウィズコロナによる感染対策を踏まえた実施方策について検討していく。	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220300 - 002 (公財)板橋区文化・国際交流財団運営助成(文化・法人会計)		
担当所属	文化・国際交流課	連絡先	3579-2018
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
根拠法令要綱	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱		
計画事業番号		事業期間	平成24年度 ~
		施設種別	

【事業概要・環境変化】

<p>事業概要</p> <p>【対象】 板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する(公財)板橋区文化・国際交流財団</p> <p>【手段】 運営費の一部を助成する。</p> <p>【意図】 いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2025において、独自の文化芸術施策を推進するとともに、クリエイターやアーティストなどとのつながりをつくることで文化芸術の裾野を広げる役割を担う文化・国際交流財団による文化芸術事業の実施及び健全運営を支援する。</p> <p>【成果】 板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資する。</p>	<p>環境変化・備考</p> <p>【現状の周辺環境】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、「新しい生活様式」に対応した文化芸術活動が広がりをみせている。東京2020大会を契機として、国は文化プログラムを推進している。</p> <p>文化会館等の管理運営について、地域文化の牽引役である財団が文化会館等の指定管理者になるための組織改革を支援し、文化事業と施設管理運営が一体的に実施することで、地域文化のさらなる発展と創造支援の充実をめざす。</p> <p>【区民意識意向調査】 過去1年間に鑑賞・体験活動した文化芸術について、「メディア芸術」が52.4%、「音楽」が50.9%と多く、「全くふれなかった」区民は21.6%であった。また、過去1年間での外国人とのコミュニケーションでは、「あいさつをした」が21.6%、「仕事で関わりがあった」が19.4%と多く、「全くなかった」は51.3%であった。</p>
---	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画
① 成果指標	区民参加型事業参加者数	人	2,195.0	870.0	2,000.0	1,498.0	74.9	2,000.0
		達成率(%)	109.7	43.5	100.0	74.9		令和3年度
② 成果指標	アウトリーチ事業来場者数	人	4,910.0	1,476.0	4,000.0	2,683.0	67.1	4,000.0
		達成率(%)	122.8	36.9	100.0	67.1		令和3年度
③ 成果指標	財団YouTubeチャンネル動画再生回数	回	0.0	26,849.0	32,000.0	56,174.0	175.5	50,000.0
		達成率(%)	0.0	53.7	64.0	112.3		令和7年度
④		達成率(%)						

特記事項

指標①・②は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度は中止・事業縮小・オンライン開催などのため減少。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	96,260	110,402	94,805	134,041	112,361	
事業費	千円	48,237	62,216	38,821	78,057	80,252	
特定財源							
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
都支出金	千円	0	0	0	0	0	
特別区債	千円	0	0	0	0	0	
受益者負担	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
一般財源	千円	48,237	62,216	38,821	78,057	80,252	
人件費	千円	48,023	48,186	55,984	55,984	32,109	
正職員	千円	48,023	48,186	55,984	55,984	32,109	
人員	人	5.7	5.8	6.8	6.8	3.9	
再任用等	千円	0	0	0	0	0	
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	0	0	0	0	0	
減価償却費	千円	0	0	0	0	0	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	指標参加者1人あたり	千円	13.55	47.06	15.80	32.06	—

フルコストの増減理由

フルコストの増減理由						
------------	--	--	--	--	--	--

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220300 - 003 文化会館・グリーンホール運営経費		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3579-2018
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
根拠法令要綱	東京都板橋区立文化会館条例・施行規則 東京都板橋区立グリーンホール条例・施行規則		
計画事業番号		事業期間	昭和57年度 ~ 施設種別 区民関連施設

【事業概要・環境変化】

<p>事業概要</p> <p>【対象】 文化・芸術活動及び鑑賞の場を求めている区民</p> <p>【手段】 安心して利用しやすい快適な施設環境を整え、ホスピタリティサービスの向上に努めるとともに、文化芸術にふれる場を提供する。</p> <p>【意図】 区民の文化芸術活動が盛んになるとともに、優れた文化芸術を身近に感じることができる。</p> <p>【成果】 文化芸術活動の拠点として、区内外からの利用が増え、文化のかがやくまち板橋の実現に資する。</p>	<p>環境変化・備考</p> <p>【現状の周辺環境】 都内をはじめとする首都圏では、施設の老朽化によるホール・劇場等の閉鎖や改修が相次いでおり、大型施設の改修も重なり、施設不足が深刻化している。これらの状況が影響し、文化芸術活動の拠点として区民ニーズが上昇している。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対応に伴う緊急事態宣言等の発令により、休館・利用制限といった影響を受けている。</p> <p>今後は、コロナ禍においても、感染症拡大防止策を講じながら、区民の文化芸術やアートの鑑賞機会、アーティストの活動の場、そして区民とアーティスト双方の出会いを提供し続けていくことが求められている。</p> <p>【アンケート・統計調査】 指定管理者が実施した「令和2年度利用者アンケート」によると、文化会館では9割を超える利用者が施設・サービスに『満足』と回答している。また、施設の感染症対策に関する設問では、『適切』と回答した方が文化会館・グリーンホールともに8割を超え、コロナ禍においても指定管理者による管理運営及び主催事業では比較的高い満足度が得られている。</p>
---	---

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	文化会館大ホール利用率(単年度)	%	66.3	45.6	71.0	69.1	97.3	71.0	71.0 令和4年度
			達成率(%)	93.4	64.2	100.0	97.3		
② 成果指標	文化会館小ホール利用率(単年度)	%	68.3	46.5	69.0	65.3	94.6	69.0	69.0 令和4年度
			達成率(%)	99.0	67.4	100.0	94.6		
③ 成果指標	グリーンホール1階ホール利用率(単年度)	%	78.7	66.3	86.5	72.8	84.2	86.5	86.5 令和4年度
			達成率(%)	91.0	76.6	100.0	84.2		
④ 成果指標	グリーンホール2階ホール利用率(単年度)	%	69.0	53.6	77.5	64.6	83.4	77.5	77.5 令和4年度
			達成率(%)	89.0	69.2	100.0	83.4		
⑤ 成果指標	公演(イベント)入場者率	%	76.3	84.0	80.0	71.8	89.8	80.0	80.0 令和4年度
			達成率(%)	95.4	105.0	100.0	89.8		

特記事項
指標①~⑤は、新型コロナウイルス感染症の影響はありつつも、手指消毒液等の感染症対策物品の配置や、適切な館内消毒等の実施によるイメージ向上の結果、上昇傾向にある。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	655,182	648,289	495,007	520,491	794,102	
事業費	千円	515,986	514,797	361,643	381,858	657,115	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	3,556	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	612	430	565	566	564
	その他	千円	6,374	6,296	10,939	8,949	8,208
	一般財源	千円	505,444	508,071	350,139	372,343	648,343
人件費	千円	16,007	14,124	13,996	13,996	12,350	
正職員	千円	16,007	14,124	13,996	13,996	12,350	
	人員	人	1.9	1.7	1.7	1.7	1.5
	再任用等	千円	0	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	123,189	119,368	119,368	124,637	124,637	
減価償却費	千円	123,189	119,368	119,368	124,637	124,637	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	利用1件あたり 千円	39.02	64.43	49.20	40.99	62.54	

フルコストの増減理由

年度によって施設改修経費が異なり増減するものの、ランニング経費は指定管理者のノウハウと努力により抑えられ、区直営時と比較して経費効果が継続して出ている。(コスト指標の分母：全諸室利用件数合計。R1...16,793件、R2...10,062件、R3...12,698件)

事務事業名	220300 - 003	文化会館・グリーンホール運営経費
-------	--------------	------------------

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	停滞／事業手法の見直し
文化会館・グリーンホールの施設利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により休館等の対応を余儀なくされたため減少に転じた。感染症拡大防止策を講じて利用できる環境を整備することで、施設利用率の向上を図る。開催した公演については、目標値を達成して成果をあげた。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等による利用制限がある中でも、感染症拡大防止策を講じ、安心・安全に利用していただける環境を整備したことで、令和2年度と比較し、利用率が向上している。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満たしたか	-		
2. 成果指標の計画値を満たしたか	70%~90%がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等の影響による一部利用休止や、イベント自粛等により施設利用が減少している。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響はありつつも、コロナ禍での事業のあり方を追求し、感染症拡大防止策を徹底したうえで各種公演等を実施することで、中間アウトカム「文化芸術活動拠点の充実」に寄与する。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況			
文化会館及びグリーンホールでは指定管理者制度を導入しており、民間企業のノウハウを活用した、効率的かつ実効性の高い事業展開を行っている。その結果、利用者サービスの向上（会館日数の増加、開館時間の延長等）や施設利用率・利用者満足度が高まっている。			
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について			
引き続き感染症拡大防止策を徹底し、安心・安全な施設運営を継続する。また、これらの取組を積極的に発信することで、新たな顧客層の獲得に挑戦していく。これと並行し、天井板落下防止工事等によるハード面の改善も積極的に実施し、ソフト面での創意工夫との両輪で、利用したくなる施設を目指す。			

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言等の発出で、施設利用率等が落ち込んでいたが、感染症拡大防止策の徹底等の取組により、利用率は改善している。引き続きこれらの取組を継続するとともに、感染拡大状況に合わせた柔軟な施設運営を心掛けることで、指標の改善を目指していく。	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220300 - 004 美術館管理運営経費		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3979-3251
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220300	個性ある文化芸術の創造と活動の支援	
根拠法令要綱	板橋区立美術館条例、板橋区立美術館管理規則、板橋区文化芸術振興基本計画2020、文化芸術振興基本法、東京都文化振興条例		
計画事業番号		事業期間 昭和54年度 ~	施設種別 教育関連施設

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区民及び区外から美術鑑賞を求めて来館される方々</p> <p>【手段】 絵本、江戸狩野派、池袋モンパルナスの3つを柱に、板橋オンリーのユニークな展覧会を開催し、個性ある芸術を創造・発信する。また、アトリエ教室・講座等の実施による教育普及事業、板橋ゆかりの作家と近現代美術、及び近世美術（江戸期の江戸地方）の古美術にかかる資料収集・調査研究を行う。運営方法は、平成26年12月に決定した「板橋区立美術館のあり方について」の中で、直営方式が最適であると結論付けている。</p> <p>【意図】 地域に親しまれる魅力ある美術館として、区の文化芸術を振興する。</p> <p>【成果】 来館者の増加を図り、板橋区立美術館ならではの芸術にふれる機会を創出する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 板橋ゆかりの作家と近現代美術、近世美術（江戸期の江戸地方）の古美術を資料収集。特に江戸狩野派の体系的な収集は全国に知られている。展覧会は、古美術、近現代美術及び絵本関連作品を3本柱として開催。各分野で注目を集め高い評価を得ている。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 大規模改修工事によりリニューアルしたため、情報発信の充実や、オリンピックに因んだ国際交流の機運の高まりをとらえた企画により、従来よりも多くの観覧者、利用者を呼び込み、地域に親しまれ、また、国内外に板橋の文化発信力を顕示できる場としての運用が求められる。</p> <p>【他自治体との比較】 区の直営は板橋区のみ（令和3年度）。練馬、世田谷、渋谷、目黒、墨田の各区は関連財団が指定管理者または事業委託先。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	展覧会回数	回	7.0	6.0	8.0	9.0	112.5	8.0	8.0
		達成率(%)	87.5	75.0	100.0	112.5		100.0	
② 成果指標	展覧会入館者数	人	37,417.0	30,159.0	55,000.0	31,898.0	58.0	55,000.0	55,000.0
		達成率(%)	68.0	54.8	100.0	58.0		100.0	
③ 成果指標	図録等販売実績	千円	6,063.0	7,234.0	7,230.0	6,279.0	86.8	6,540.0	6,540.0
		達成率(%)	92.7	110.6	110.6	96.0		100.0	
④ 成果指標	美術教室参加延べ人数	人	582.0	8.0	1,500.0	726.0	48.4	1,500.0	1,500.0
		達成率(%)	38.8	0.5	100.0	48.4		100.0	
⑤									

特記事項

新型コロナウイルス感染拡大防止により一部の展覧会の会期を変更した。同様に講演会やイベント、美術教室についても一部を延期または中止とした。小学校鑑賞教室については、美術館のほかオンラインでの鑑賞教室を開催した。


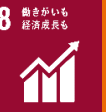





【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算	
フルコスト	千円	155,565	221,524	213,340	198,650	216,627	
事業費	千円	103,881	112,026	104,442	89,752	107,729	
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	都支出金	千円	0	0	0	0	
	特別区債	千円	0	0	0	0	
	受益者負担	千円	15,744	22,355	26,843	15,832	24,282
	その他	千円	1,416	43	39	41	3,037
	一般財源	千円	86,721	89,628	77,560	73,879	80,410
人件費	千円	51,536	66,464	65,864	65,864	65,864	
正職員	千円	47,180	66,464	65,864	65,864	65,864	
	人員	人	5.6	8.0	8.0	8.0	8.0
	再任用等	千円	4,356	0	0	0	0
	人員	人	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0	
経費	千円	148	43,034	43,034	43,034	43,034	
減価償却費	千円	148	43,034	43,034	43,034	43,034	
その他	千円	0	0	0	0	0	
コスト指標	来館者1人あたり	千円	4.16	2.95	3.88	3.61	3.94

フルコストの増減理由

令和3年度は2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による展覧会期間の変更により来館者数が減少した。

令和 4年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220400	国際性豊かな地域社会づくり				
SDGs (関連性のあるGOAL)	      					
基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち					
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化					
所管部長	区民文化部長		所管課長	文化・国際交流課長		
関連所管	総務課					

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】</p> <p>姉妹・友好都市との交流や多言語・多文化対応など、外国人の生活・コミュニケーション支援の充実を図り、国際性豊かで多文化が共生するまちづくりを推進する。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】</p> <p>多文化について相互に理解しあい、尊重する。 多文化・多言語を理解するため、情報を発信し、環境を整える。</p> <p>【主な取り組み】</p> <p>国際交流事業、姉妹・友好都市提携周年記念事業など</p>	<p>地域で暮らす外国人に必要な情報をわかりやすく伝えたり、日本語を学習できる環境が整備されている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 過去1年間で外国人とコミュニケーションがあった区民の割合	%	59.5	—	43.9	0.0	45.0
		達成率(%)	132.2	—	97.6	0.0	令和7年度
	② 多文化共生推進イベント参加者数	人	238.0	208.0	269.0	660.0	660.0
		達成率(%)	36.1	31.5	40.8	100.0	令和7年度
	③ 外国人の日本語学習事業の参加者数	人	315.0	119.0	179.0	300.0	300.0
		達成率(%)	105.0	39.7	59.7	100.0	令和7年度
	④ 多言語化・コミュニケーション支援事業の実施件数	件	332.0	545.0	583.0	600.0	600.0
		達成率(%)	55.3	90.8	97.2	100.0	令和7年度
	⑤						
			達成率(%)				

特記事項

①は隔年実施の区民意識意向調査結果。②は文化・国際交流財団による多文化紹介シリーズ、国際交流サロン、日本語スピーチ大会の3事業の参加者数であり、目標値は目標年度までの平均値である660人とする。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止もしくはオンライン開催となった。③は文化・国際交流財団日本語教室と外国人児童・生徒のための日本語初学期学習集中講座の受講者数合計。④は通訳と翻訳の事業実施件数

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	72,569	60,384	68,239	65,354	72,947
事業費	千円	35,498	28,813	36,668	30,776	36,721
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	35,498	28,813	36,668	30,776	36,721
人件費合計	千円	37,071	31,571	31,571	34,578	36,226
経費	千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

令和2年度に5年毎の計画策定により、令和元年度はそれに先駆けてアンケート調査を行ったためその委託料が増となっている。令和元年度にはパーリントン市姉妹都市提携30周年記念事業、令和2年度にはボローニャ市友好都市交流協定締結15周年記念事業があったため、そこに係る経費が増となった。

施策名	220400	国際性豊かな地域社会づくり
-----	--------	---------------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価用語／改善の方向性		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況		

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価		
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価		
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価		
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価用語／改善の方向性	

【二次評価】区の最終評価

評価用語／改善の方向性	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220400 - 001 外国人学校在校生保護者助成経費		
担当所属	総務課		連絡先 3579-2052
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり	
根拠法令要綱	板橋区外国人学校児童・生徒保護者負担軽減補助金交付要綱		
計画事業番号		事業期間	昭和57年度 ~ 施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内在住の外国人学校在学の児童・生徒（義務教育相当年齢）の保護者保護者とは、板橋区に住民登録をした日本国籍以外のもので、かつ授業料納付の義務を負っている者</p> <p>【手段】 児童・生徒一人当たり支給額8,500円を補助金として交付</p> <p>【意図】 保護者の経済的な負担の軽減</p> <p>【成果】 支給人数</p>	<p>【開始時の周辺環境】 昭和56年に「区民であり納税義務を負っているにも関わらず、在日朝鮮人に対して反対給付がなく区民平等の原則に反する」との趣旨の「特別援助金交付についての請願」が採択されたことに鑑み、この制度を創設した。</p> <p>【今後の予想される周辺環境】 平成26年から区内在住外国人数は増加傾向にある。</p> <p>【他自治体との比較】 23区中全ての区が同様の事業を実施している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	支給人数	人	149.0	156.0	150.0	180.0	120.0	160.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—		—	
②		達成率(%)							
		達成率(%)							
③		達成率(%)							
		達成率(%)							
④		達成率(%)							
		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							
		達成率(%)							
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	15,225	16,488	16,123	17,269	17,143
事業費	千円	14,382	15,657	15,300	16,446	16,320
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,382	15,657	15,300	16,446
人件費	千円	843	831	823	823	823
正職員	千円	843	831	823	823	823
	人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用等	千円	0	0	0	0
	人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
コスト指標	一人あたり 千円	102.18	105.69	107.49	95.94	107.14

フルコストの増減理由

支給人数の増

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220400 - 002 国際交流事業運営	
担当所属	文化・国際交流課	連絡先 3579-2018
関連所属		

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち	
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化	
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり
根拠法令要綱		
計画事業番号	事業期間	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 外国人区民</p> <p>【手段】 翻訳や通訳等の事業委託を行う。外国人向けの生活情報をまとめ、転入時に情報提供する。</p> <p>【意図】 日本語がわからない区民に情報・行政サービスを提供する。</p> <p>【成果】 外国人区民にも、日本人同様の情報や行政サービスを提供することに覚え、外国人にとって有益な情報を確実に伝えることができる。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区内の外国人住民数は平成26年から増加し続けていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和3年は減少に転じた。中国人、韓国人が大多数を占めているが、近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。</p> <p>【区民からの意見】 区民からは、近隣に引っ越してくる外国人がどのように生活ルールを知っているかわからないと不安であるといった声や、転居してくる時にゴミの出し方など生活ルールを伝えてほしいといった意見がある。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
①	活動指標	通訳・翻訳件数	208.0	545.0	200.0	583.0	291.5	200.0	200.0
		達成率(%)	104.0	272.5	100.0	291.5		100.0	令和4年度
②	活動指標	外国人向け生活情報の発信チラシ作成数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10,000.0	10,000.0
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		100.0	令和4年度
③		達成率(%)							
④		達成率(%)							
⑤		達成率(%)							

特記事項

①については、令和2年度より電話通訳の導入・少数言語への対応により大幅に増加した。
②については、令和4年度からこれまでの多言語情報を統合して新たに作成。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	7,286	6,518	5,849	5,586	7,259
事業費	千円	3,073	3,195	2,556	2,293	2,319
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	3,073	3,195	2,556	2,293	2,319
人件費	千円	4,213	3,323	3,293	3,293	4,940
正職員	千円	4,213	3,323	3,293	3,293	4,940
人員	人	0.5	0.4	0.4	0.4	0.6
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	外国人1人あたり	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

事業費は通訳・翻訳委託、多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」の作成経費であり、概ね横ばいで推移している。令和4年度からは多言語リーフレットの作成、「Welcome to いたばし」を統合し、「外国人向け生活情報の発信」とするため事業費が減となる。平成30年度決算までは人件費に文化・国際交流財団国際交流係への派遣職員3人分を含んでいたが、令和元年度決算からは区職員のみとなっている。

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220400 - 003 モンゴル国「文化・教育交流協定」25周年記念事業		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3579-2018
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間 令和 3年度 ~ 令和 3年度	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 モンゴル国・文科省、教育科学省、区民</p> <p>【手段】 モンゴル国「文化・教育交流協定」25周年を機に、記念イベント・交流事業を実施する。</p> <p>【意図】 モンゴル国「文化・教育交流協定」25周年を機に、相互交流をさらに促進し、国際平和に貢献する。</p> <p>【成果】 モンゴル国の文化に触れ、交流する機会を創出し、国際理解を深める。</p>	

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 成果指標	周年イベント来場者数	人(延べ)	0.0	0.0	10,000.0	5,893.0	58.9	—	
		達成率(%)							
② 成果指標	モンゴル料理フェア販売数	人(延べ)	0.0	0.0	427.0	427.0	100.0	—	
		達成率(%)							
③ 成果指標	青少年オンライン交流イベント	人(延べ)	0.0	0.0	20.0	20.0	100.0	—	
		達成率(%)							
④									
⑤									
特記事項									

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	0	0	6,467	5,108	0
事業費	千円	0	0	6,467	1,815	0
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	0	0	6,467	1,815	0
人件費	千円	0	0	0	3,293	0
正職員	千円	0	0	0	3,293	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—
フルコストの増減理由						

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220400 - 004 (公財) 板橋区文化・国際交流財団運営助成 (国際交流)			
担当所属	文化・国際交流課		連絡先	3579-2018
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり		
根拠法令要綱	公益財団法人板橋区文化・国際交流財団補助金交付要綱			
計画事業番号		事業期間	平成24年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 板橋区民を対象に文化事業及び国際交流事業を企画・実施する（公財）板橋区文化・国際交流財団</p> <p>【手段】 運営費の一部を助成する。</p> <p>【意図】 いたばし文化芸術・多文化ビジョンにおいて、区民レベルでの国際交流や多文化共生の推進を期待されている文化・国際交流財団による国際交流事業の着実な実施及び健全運営を支援する。</p> <p>【成果】 板橋区における地域文化の創造支援と国際相互理解の促進が図られ、文化の香り高いまちづくりに資する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 区内の外国人住民数は平成26年から増加し続けていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で入国者数が大幅に減少したことなどから、令和3年は減少に転じた。中国人、韓国人が大多数を占めているが、近年、ベトナム人、ネパール人が増えている。</p> <p>【他自治体との比較】 板橋区の財団は、経常収益に占める区からの補助金等の割合が6割～7割程度であり、足立区を除く15財団中5番目に低い水準となっている。また、収益率は約37%と平均（約29%）よりも高くなっている。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	国際理解教育（小中学校への外国人派遣事業）派遣数	件	20.0	4.0	20.0	9.0	40.0	20.0	20.0
			達成率(%)	100.0	20.0	100.0	40.0		100.0
② 成果指標	日本語教室参加者数	人	284.0	98.0	120.0	161.0	134.2	120.0	120.0
			達成率(%)	236.7	81.7	100.0	134.2		100.0
③ 成果指標	日本語スピーチ大会来場者数	人	0.0	179.0	250.0	183.0	73.2	250.0	250.0
			達成率(%)	0.0	71.6	100.0	73.2		100.0
④ 成果指標	過去1年間で外国人とコミュニケーションのあった区民の割合	%	59.5	—	45.0	43.9	97.6	—	45.0
			達成率(%)	132.2	—	100.0	97.6		—

特記事項

指標①は新型コロナウイルス感染症拡大により、実施予定回数を減らしたため、回数減となった。
 指標②は新型コロナウイルス感染症拡大により、教室の定員を半分に減らし実施した。
 指標③は新型コロナウイルス感染症拡大により、令和元年度は中止、令和2年度は事前録画をオンライン配信し、令和3年度は有観客で開催しオンラインでもライブ配信した。
 指標④は隔年実施の区民意識意向調査結果。
 指標②及び③については、令和2年度はオンラインによる参加者数とする。
 指標③については、令和3年度は来場者とオンライン視聴者数の合計とする。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	33,882	26,708	32,765	27,322	37,123
事業費	千円	8,607	8,430	14,652	9,209	16,540
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
特定財源	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	8,607	8,430	14,652	9,209	16,540
人件費	千円	25,275	18,278	18,113	18,113	20,583
正職員	千円	25,275	18,278	18,113	18,113	20,583
人員	人	3.0	2.2	2.2	2.2	2.5
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

令和元年度予算までは文化事業・法人会計及び国際交流事業をあわせて算定していたが、令和元年度決算から評価表を分けることとした。

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／工夫して継続
国際理解教育、日本語教室、日本語スピーチ大会の事業実績は、新型コロナウイルスの影響から低くとどまっているが、オンライン開催とするなど工夫して継続した。事業実施にあたり多様な方法を検討し、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図る。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
感染防止対策を徹底するとともにオンラインを併用したハイブリット形式によるイベント実施など、新型コロナウイルスの影響が続く中においても可能な限り事業を実施した。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	C
1. 活動指標の計画値を満したか	70%未満がある		
2. 成果指標の計画値を満したか	70%~90%がある		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数や定員を減らしたことにより計画値を達成できなかった。		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	A
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか		大きく寄与している	
日本語教室を推進することで、区内在住外国人が生活に必要な日本語を学べる機会が充実し、中間アウトカム「誰もが安心・安全に暮らせる環境整備」に寄与する。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	A
1. コストは最適であるか	最適である		
2. コスト最適化への取組状況	財団事業について毎年実績確認して金額確定しており、その事業内容及び区民への貢献度を考えると、その運営を維持するためには現状の助成金額は最適であると言える。これまで財団の経営計画2018の着実な実施によりコスト最適化は進行してきた。今後も、経営計画2021の着実な推進を要請していく。		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	中間アウトカム「誰もが安心・安全に暮らせる環境整備」の成果向上に向けて、令和4年度から国際理解教育の回数増や日本語教室の定員増を進めていく。		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
事業実績は新型コロナウイルスの影響から低くとどまっていたが、オンラインの併用などにより可能な限り事業を実施したため、活動指標が改善してきた。オンラインのさらなる活用など事業実施の方法を検討し、多文化理解の促進や日本語学習機会の提供を図る。	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業) モニタリング

事務事業名	220400 - 005 事務費		
担当所属	文化・国際交流課		連絡先 3579-2018
関連所属			

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち		
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化		
施策	220400	国際性豊かな地域社会づくり	
根拠法令要綱			
計画事業番号		事業期間	～
			施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内在住もしくは区と交流のある外国人</p> <p>【手段】 公式訪問における通訳・翻訳の手配、食事の手配等をする。冊子の印刷を行う。国際交流連絡会を開催する。</p> <p>【意図】 各種国際交流事業を有意義かつ実効性あるものに展開する。</p> <p>【成果】 外国人に板橋区の魅力を伝え、さらに国際交流を推進する。</p>	<p>【現状の周辺環境】 板橋区に表敬訪問に来る外国人や花火大会に参加する外国人は、年度によって波がある。</p> <p>【区民からの意見】 区ホームページに、板橋区紹介冊子「In and Around」が掲載されており、留学時に自分の住んでいる板橋区を紹介することができて嬉しかった。 留学生対象の防災訓練は、様々な大学に声をかけをし、拡充して欲しい。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)		計画
① 活動指標	通訳・翻訳の手配件数	件	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	0.0		0.0	令和4年度
② 活動指標	国際交流連絡会開催回数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0
		達成率(%)	100.0	100.0	100.0	0.0		0.0	令和4年度
③ 成果指標	花火大会招待枠参加外国人人数	人	60.0	0.0	44.0	0.0	0.0	50.0	50.0
		達成率(%)	120.0	0.0	88.0	0.0		100.0	令和4年度
④ 成果指標	留学生対象の防災訓練参加者数	人	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
		達成率(%)	50.0	0.0	100.0	0.0		100.0	令和4年度
⑤									

特記事項

③・④については、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	16,176	10,670	13,216	10,069	11,422
事業費	千円	9,436	1,531	4,160	1,013	1,542
特定財源						
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	9,436	1,531	4,160	1,013	1,542
人件費	千円	6,740	9,139	9,056	9,056	9,880
正職員	千円	6,740	9,139	9,056	9,056	9,880
人員	人	0.8	1.1	1.1	1.1	1.2
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	—	—	—	—	—

フルコストの増減理由

表敬訪問される来賓客の人数等は流動的であり、年度によって通訳料や食糧費が変動する。令和元年度は計画策定のためのアンケート委託料等が増となっている。令和2年度決算は、新型コロナウイルス感染症拡大により表敬訪問がなかったため、通訳・翻訳の手配がなかったことによる減少。また、東京2020大会の延期により海外姉妹友好都市等の受入がなくなったため減少。

令和 4年度 施策評価表 モニタリング

施策名	220500	平和都市の推進						
SDGs (関連性のあるGOAL)	16 <small>平和と公正をすべての人に</small>							
基本目標	Ⅱ いきいきかがやく元気なまち							
基本政策	Ⅱ-2 心躍るスポーツ・文化							
所管部長	総務部長			所管課長	総務課長			
関連所管								

【施策基本情報】

施策概要（「基本計画2025」）	施策のアウトカムイメージ
<p>【概要】 板橋区平和都市宣言に掲げた理念を区内外に伝え、平和意識の醸成を図る。</p> <p>【関係課または区以外の主体が施策実現に果たす役割】 ・教育委員会は子どもの学ぶ機会の創出 ・被爆地自治体は戦争が風化しないための資料提供や機会の提供</p> <p>【主な取組】 板橋区平和都市宣言記念事業</p>	<p>学校や教育委員会、地域住民など様々な主体と連携を取りながら、次代を担う子どもたちをはじめ、区民が平和の大切さをより理解するとともに、互いに伝え合うことで、一層の平和意識が醸成されている状態。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値
			実績	実績	実績	計画	目標年度
施策指標	① 平和啓発事業来場者の平和意識向上率	%	93.2	91.9	84.2	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	令和7年度
	② 戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う区民の割合	%	94.5	—	91.6	—	100.0
		達成率(%)	94.5	—	91.6	—	令和7年度
	③	達成率(%)					
④	達成率(%)						
⑤	達成率(%)						
特記事項 「中学生平和の旅」が中止となり、それに伴い平和のつどいにて行っている「中学生平和の旅体験発表」が行われなかったことが、平和啓発事業来場者の平和意識向上率と戦争体験を語り継ぐことが大切だと思う区民の割合が例年より低下した一因と考えられる。							

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	12,682	6,533	11,836	5,744	12,501
事業費	千円	7,627	1,548	6,851	804	7,561
特定財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	都支出金	千円	0	0	0	0
	特別区債	千円	0	0	0	0
	受益者負担	千円	0	0	0	0
	その他	千円	226	226	226	226
一般財源	千円	7,401	1,322	6,625	578	7,345
人件費合計	千円	5,055	4,985	4,985	4,940	4,940
経費	千円	0	0	0	0	0

フルコストの増減理由

「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施したことにより、結果として規模縮小、経費削減となった。

施策名	220500	平和都市の推進
------------	--------	---------

【前回の評価結果への対応状況】

前回の評価内容		
評価評語／改善の方向性		
前回の評価結果への対応状況		
対応状況		

【一次評価】所管部長による評価

[成果の分析] 1. 施策目標に対する成果（実績値）の推移		
評価		
[成果の分析] 2. 目標と成果にギャップがある場合の要因		
[アウトカムの分析] 最終アウトカム（施策目標）を実現するための中間アウトカムは妥当か		
評価		
[環境変化の分析] 環境変化への対応状況について（社会状況や区民ニーズに対応できたか）		
評価		
[今後の展開方針] 施策の抱える課題を踏まえ、最終アウトカムの実現に向けて、施策をどう展開していくか		

【外部評価】行政評価委員会による評価

評価評語／改善の方向性	

【二次評価】区の最終評価

評価評語／改善の方向性	

令和 4年度 事務事業評価表 (令和 3年度 事務事業)

事務事業名	220500 - 001 平和都市宣言記念事業経費			
担当所属	総務課		連絡先	3579-2052
関連所属				

【事務事業基本情報】

基本目標	Ⅱいきいきかがやく元気なまち			
基本政策	Ⅱ-2心躍るスポーツ・文化			
施策	220500	平和都市の推進		
根拠法令要綱	板橋区平和都市宣言、板橋区平和都市宣言記念事業実行委員会設置要綱			
計画事業番号		事業期間	昭和60年度 ~	施設種別

【事業概要・環境変化】

事業概要	環境変化・備考
<p>【対象】 区内小中学生及び学校関係者、区内在住及び在勤者</p> <p>【手段】 1 平和絵画・原爆展（区役所本庁舎・赤塚支所） 2 中学生平和の旅（広島・長崎） 3 平和のつどい 4 平和展 5 平和の灯の保守（モニュメント）</p> <p>【意図】 昭和60年1月1日に行った板橋区平和都市宣言を記念し、各種平和事業の実施することで区民の平和意識の醸成や高揚を図る。</p> <p>【成果】 参加者満足度、平和絵画・原爆展応募作品数、中学生平和の旅活動日、平和のつどい参加者数</p>	<p>【現状の周辺環境】 世界平和は人類共通の願いであるが、世界では今でも多くの核兵器が存在し、また、民族・地域紛争やテロ行為などによる多くの死傷者があとを絶たず、世界平和実現を困難なものとしている。令和3年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から平和の旅を中止した。</p> <p>【他自治体との比較】 全23区で平和事業を実施しているが、そのうち8区で、被爆地自治体等への派遣事業を実施している。</p>

【指標の推移】

区分	指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	目標値	
			実績	実績	計画	実績	達成率(%)	計画	目標年度
① 活動指標	平和絵画・原爆展開催期間	日	13.0	13.0	13.0	13.0	100.0	15.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
② 活動指標	中学生広島・長崎平和の旅活動日数（事前・事後学習含）	日	16.0	0.0	16.0	2.0	12.5	16.0	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—
③ 成果指標	参加者満足度	%	91.5	77.3	90.0	84.2	93.6	90.0	90.0
		達成率(%)	101.7	85.9	100.0	93.6	—	100.0	令和7年度
④ 成果指標	平和絵画・原爆展応募作品数	点	273.0	258.0	100.0	290.0	290.0	100.0	100.0
		達成率(%)	273.0	258.0	100.0	290.0	—	100.0	令和7年度
⑤ 成果指標	平和のつどい参加者数	人	769.0	359.0	—	73.0	—	—	—
		達成率(%)	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「中学生広島・長崎平和の旅」が中止となり、「平和のつどい」では、「中学生平和の旅体験発表」の場が設けられなかった。その代わりに、平和に関する映画上映を行なったことが、令和3年度の参加者満足度の実績数値が上昇した一因と考えられる。

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和3年度 決算	令和4年度 予算
フルコスト	千円	12,682	6,533	11,791	5,744	12,501
事業費	千円	7,627	1,548	6,851	804	7,561
特定財源	千円	0	0	0	0	0
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
都支出金	千円	0	0	0	0	0
特別区債	千円	0	0	0	0	0
受益者負担	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	226	226	226	226	216
一般財源	千円	7,401	1,322	6,625	578	7,345
人件費	千円	5,055	4,985	4,940	4,940	4,940
正職員	千円	5,055	4,985	4,940	4,940	4,940
人員	人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
再任用等	千円	0	0	0	0	0
人員	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他職員	千円	0	0	0	0	0
経費	千円	0	0	0	0	0
減価償却費	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
コスト指標	千円	12.17	10.59	117.91	15.82	125.01

フルコストの増減理由

令和2年度が前年度と比べて減少した理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生広島・長崎平和の旅を中止したことによる経費減のためである。また、令和3年度が前年度と比べて減少した理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学生広島・長崎平和の旅を中止したことに加えて、例年実施している会場から小規模な会場へ変更したことによる経費減のためである。

【前回の二次評価結果への対応状況】

前回の二次評価内容	
評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中学生広島・長崎平和の旅を中止し、また「平和のつどい」の実施方法等の変更が余儀なくされた。ポストコロナを見据えながら、引き続き本事業の目標である平和意識のさらなる醸成を図りつつ、SDGsが掲げる目標16「平和と公正をすべての人に」を念頭に、より効果的な内容とすべく、柔軟な発想で企画・立案して平和都市宣言事業を実施していく。	
前回の二次評価結果への対応状況	
対応状況	対応済
令和3年度は、前回の二次評価結果を踏まえて、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施した。また、「平和絵画・原爆展」への応募を働きかけ、児童生徒に対する平和の大切さへの理解を図った。	

【一次評価】所管課長による評価

[活動結果や成果の分析]		達成度	B
1. 活動指標の計画値を満したか	70%未満がある		
2. 成果指標の計画値を満したか	全てが90%以上		
3. 計画どおり進捗しなかった理由を入力してください	<p>「中学生広島・長崎平和の旅」は、中学生参加者を募集、決定し、平和に関する事前学習を行なったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、令和3年度は「中学生広島・長崎平和の旅活動日数（事前・事後学習会合）」の計画値を満たすことができなかった。</p>		
[中間アウトカムとの整合性]		寄与度	B
(事務事業は) 中間アウトカムに寄与しているか	寄与している		
平和都市宣言記念事業における「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和絵画・原爆展」を進めていくことで、区民の平和に対する意識は向上する。こうした取組を継続的に進めていくことで、中間アウトカム「平和に対する関心が高まる」に寄与している。			
[フルコストの把握・分析]		コスト評価	B
1. コストは最適であるか	最適化に取り組んでいる		
2. コスト最適化への取組状況	<p>「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施したことにより、結果として規模縮小、経費削減となった。今後の実施にあたっては感染症対策と事業手法や規模等を総合的に考慮し、経費の最適化を図っていく。</p>		
[改善の方向性]			
1. 方向性を選択してください	事業手法の見直し		
2. 具体的な手段を選択してください	コスト維持／活動・成果指標の向上		
3. 中間アウトカムの成果向上に向けた改善策について	<p>適宜感染防止対策を講じたうえで、効果的な平和に対する関心が高まる平和都市宣言事業実施方法等を検討していく（具体的には、平和の旅に参加する中学生の人数を減らし、宿泊場所や移動中の感染防止対策を徹底する等）。また、世界平和を希求し、ウクライナ人道支援に関する展示等の実施を検討する。なお、事業実施にあたっては区議会及び区で構成される実行委員会において経費や実施効果等を十分に検討していく。また、関心を高めるためにはイベントだけでなく、情報発信も有用なので、その点も強化していく。</p>		

【二次評価】所管部長による評価

評価評語／改善の方向性	概ね順調／事業手法の見直し
令和3年度は、「中学生広島・長崎平和の旅」や「平和のつどい」において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止又は対策を講じながら工夫して実施した。今後の実施にあたっては、ポストコロナを見据えながら、感染症対策と事業手法や規模等を総合的に検討するとともに、既存の事業のブラッシュアップに軸足を置き、啓発発信（ホームページ、SNSのコンテンツの充実など）を強化していく。	